第5回いい川・いい川づくりWS　技術奨励賞を受賞！　9月22・23日

今年も国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された、「いい川・いい川づくりワークショップ」（主催：いい川・いい川づくり実行委員会、後援：国土交通省）に参加しました。

今年は、アユに関する活動を中心に、産卵場の整備や卵の調査、遡上調査について発表しました。一次選考は苦戦しながらも、無事通過。２日目の二次選考を経て、全国30団体の中から、技術奨励賞を受賞しました。

選考委員からは、魚みちづくりにとどまらず、その後、魚みちを改良したり、産卵場の整備において、手作りのトンボで川底をフワフワにし、アユの産卵に結びつけたこと。さらに遡上調査は、1万尾以上のアユの遡上を市民自ら確認したことが、評価されました。

参加した4人のメンバーからは、

●あの狭い部屋で次の日の二次選考に向けて、４人で熱く発表内容の検討行ったのはいい思い出です。せっかくの懇親会のお酒は飛んでしまいましたが…。大阪府、高槻市、そして市民が熱くなれたことがグランプリものでした。

●なが～い待ち時間のあと「技術奨励賞」というお土産を頂いて、とても嬉しかったです。今後の活動の励みになります。

●いい川づくりの奥深さを感じることができるいい経験になりました。

とのコメントがありました。

第11回韓国「江の日」大会に行ってきました！　8月16～18日

昨年の第４回「いい川・いい川づくりワークショップ」において、芥川倶楽部がグランプリを受賞したので、韓国の水原市で開催された韓国「江の日」大会に招待されました。

この大会は、韓国内で行われている様々な活動主体による水辺環境の保全活動事例を集めて、公開発表、公開討論、公開審査という方式を通じて優秀な事例を選考する大会です。また、選考だけでなく、活動する団体が一堂に会し、開催地区の協力により大規模な祝祭として行われ、今年で11回目になるそうです。

初日は、まず日本から招待された３団体が、活動発表を行いました。芥川倶楽部の事例紹介では、「土のうを2,500袋積んで、次の日腰がガクガクした」のくだりで笑いが。

また、遡上調査のビデオ上映では、会場の皆さんが興味深く見ていただきました。

大会委員を始め、ボランティアの大学生の皆さん、水原市長や水原市の職員の方々の心のこもった歓待を受け大変思い出に残る韓国「江の日」大会でした。

これからの行事予定　みんな来てね！

平成24年12月27日まで	あくあぴあ芥川「なんでつくるの？魚みち」に出展中
平成25年2月23日(土)	アユちゃんお帰りな祭2012報告会
平成25年3月23日(土)	芥川クリーンアップ大作戦

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントに一緒に参加してくれる方を募集しています。
イベント等の情報は下記の芥川倶楽部ブログにて、紹介しておりますので、ぜひご覧ください。
ブログ :http://akutariv.blog85.fc2.com/　　HP :http://akutagawaclub.web.fc2.com/
e-mail : akutagawa0726@yahoo.co.jp

～～～ 芥川はみんなの川です　芥川をきれいにしましょう　ゴミを捨てないようにしましょう ～～～

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより

Vol.14
2012年
秋号

アユが遡上中！　空中にジャンプしています！

アユちゃんお帰りな祭 ～ アユ遡上調査結果報告 ～

昨年、芥川大橋の上流に魚みちが完成し、芥川に天然アユが再び遡上していることを確認しましたが、残念ながら全体の遡上数の把握はできていませんでした。そこで、今年5月から6月にかけて市民や学生の皆さんに協力を呼びかけ、ボランティアによる調査を実施しました。

5月5日から調査を始め、最終日の6月27日までの27日間、ボランティア調査の参加者は延べ81人にのぼりました。多数のご参加、本当にありがとうございました。

目視調査で確認できたアユは3,793尾！

いつ遡上するのかということでは、一日の降雨量が10mmを超えた、6月9日、19日、21日、22日の4日間で、遡上数が増加していることから、雨が降ったときにアユが遡上しやすいことが推測されました。

平成24年 芥川の推定遡上数は11,056尾！

そして、今年、実際アユはどれくらいのぼったのかという疑問に答えるべく、アユ遡上数の推定を行いました。京都大学の竹門准教授にご指導いただき、観測日以外は、遡上数にカウントしないこと、観測日の遡上の傾向をつかんで、観測していない時間帯の推計を行いました。その結果、27日間の調査で遡上個体数11,056匹のうち、90%にあたる9,946匹が遡上数の多い日４日で遡上していました。

今年、期間内の調査日は、大潮を目安に設定しましたが、調査結果から実際には、雨が降り流量が増えるとともに遡上することが分かりました。来年は、日の設定を見直して遡上調査を行いたいと思います。多くのボランティアの方々に協力していただき、貴重なデータを収集できました。ありがとうございました。

平成24年(2012年)11月 発行　芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部～
事務局：NPO法人芥川倶楽部　〒569-0805　高槻市上田辺町１－１８　TEL　072（685）3503
ホームページ　http://akutagawaclub.web.fc2.com/

～～～ 「芥川」は大阪ミュージアムの登録物に認定されています ～～～

天然アユ遡上と生息状況調査　6月23日

今回は、芥川のアユ遡上調査速報と、大阪湾から淀川を遡り、芥川にやってくる天然アユを自分の目で確認するというフィールド講座です。

２日前の雨で芥川が増水し、実施が危ぶまれましたが、当日は天気も回復し総勢39人の参加がありました。

芥川大橋上流の魚みちに集合すると、さっそく魚みちをアユがのぼる姿を目にすることができました。そして、あくあぴあ芥川の花﨑主任研究員が堰下流で投網を打つと、アユが12尾、それにオイカワ、ボラが獲れました。参加者は、魚みちをのぼるアユを横目に、水槽のアユを見ながら説明に聞き入りました。

また、芥川でのアユ遡上調査の速報も行いました。「新川姫蛍と花を守る会」の植島さんからは、魚みちをたくさんのアユがのぼる姿をパソコンで見せていただきました。たくさんのアユの遡上を見て、聞いて、大満足の一日でした。

ミズヒマワリパトロールを実施！　6月30日 7月31日

芥川倶楽部は平成18年から、特定外来生物「ミズヒマワリ」の駆除活動を行っており、昨年までに30回以上の駆除活動と、大阪府・高槻市による駆除事業で芥川のミズヒマワリは大幅に減少し、大きな成果をあげました。

そんな状況を確認し、今後の駆除活動の基礎資料とする繁殖実態を調査するためミズヒマワリパトロールを行いました。その結果は、城西橋から上流側はミズヒマワリが見つからず、駆除の成果を改めて確認できました。しかし、下流では121か所で繁殖を確認した。まだまだ駆除が必要なことが明らかになりました。ミズヒマワリの繁殖力の強さは油断は禁物。今後も定期的にパトロールを行いながら、冬場の駆除作業を行っていきます。

産卵場を整備しよう　10月20日

秋、アユは産卵の時期を迎えます。今年も、アユにたくさん卵を産んでもらうため、川底をたがやして産卵場の整備を行いました。

広報を見て参加された方や、関西大学ボランティアセンターの学生さんたちなど総勢35人の参加がありました。

朝10時、第一ポイントの城西橋上流に集合。ここは、昨年アユの卵が見つかった場所です。作業内容の説明の後、川に入って畑を耕すように川底を混ぜましました。石と石の間に土砂が詰まって締め固められた川底は、なかなか手ごわい。でも、たがやすうちに、固く締まっていた川底が、だんだん「ふわふわ」になってくるのがわかります。そうなれば産卵場としての整備は成功です。

続いて歩いて第二ポイントの桜堤公園へ移動。だんだん要領が分かってきて、みんなの手際が良くなってきました。

当日は、共催のあくあぴあ芥川の魚類調査として投網も実施。3投の投網でとれた魚は、ムギツク、オイカワ、モツゴなど5種類でした。あんなにたくさん芥川にのぼったアユですが、どこに行ったのか、この日はまったく姿が見えませんでした。

アユは産卵期になるとサビ色になります。アユの産卵は水温が15℃ぐらいになると始まると言われています。当日の水温は16.5℃。もう間もなく産卵が始まります。

定例総会　今年も盛大に開催！　7月7日

今年も７月７日の川の日に定例総会を開催しました。国土交通省からは、淀川河川事務所の佐久間工事品質管理官、大阪府茨木土木事務所の井出所長、高槻市の山本副市長、アドバイザーの紀平先生にもご出席いただきました。

活動計画や役員改選など総会議案を議論していただいた後、今年は特別にアユに関する報告を行いました。たくさんのアユが遡上している状況を皆さんと共に実感し、これまで７年の取組が形になったことを喜びました。

これからどう取り組んでいくか、その後の懇親会でも話がつきませんでした。

たくさんとれたよ！ ～お父さんのための魚とり講座～　7月28日

あくあぴあ芥川と芥川倶楽部の共催で、今年も「お父さんのための魚とり講座」を開催しました。この講座は、子どもには内緒でお父さんたちに魚の上手な採り方をこっそり伝授して、子どもたちのヒーローにしようとするもの。

当日は、お父さん、お母さん、おじいさん、そして子どもたち総勢39人の参加がありました。

まず、お父さんたちは、芥川で魚の採り方の講習と実習です。その間に子どもたちは、あくあぴあ館内で、芥川にいる魚の勉強です。「芥川にはアユものぼってきてるよ」という話や、水槽で実際の魚を見ながら芥川に棲んでいる魚の説明を聞きました。

子ども達は川での注意事項を聞いた後、ライフジャケットを着用し、お父さんたちが待つ川に出発。合流してからが、お父さんたちの腕の見せ所です。川に入って、子どもたちに上手な魚の採り方を教えました。みんな魚とりに夢中でした。そして、なんと子どもがタモ網で大きなニジマスを捕りました。ニジマスは放流されたものが洪水で流されてきたようです。

最後に、採れた魚の説明を聞きました。この日採れた魚は12種類でした。

川の楽しさと安全を学ぼう！ ～水辺の学校～

「水辺の学校」とは、小学生に、川の生きもの調べや川の環境比べを通じて、川の環境や水辺の安全について学んでもらおうという活動です。大阪府の茨木土木事務所とともに、芥川倶楽部、あくあぴあ芥川、高槻市、高槻警察が共同で実施しています。

まずは水難事故の多い夏休み前に、事前学習として水辺の安全と、水辺に暮らす生き物について学校で学習しました。７月18日に真上小学校4年93人と如是小学校3年59人の子ども達さんか。

そのして、夏休みが終わって元気な顔を見せてくれた子ども達と共に、実際にフィールドでての学習を行いました。8月29日には如是小学校の子ども達が津之江公園で、そして、8月31日には真上小学校の子ども達が芥川桜堤公園、川に入って、生きものを採取や川の水質試験を行いました。芥川倶楽部は、スタッフとして、子どもたちに生き物の採り方を教えたり、安全確認を行いました。

採取後は、あくあぴあ芥川の花﨑主任研究員から魚や特定外来生物について解説がありました。最後に、高槻警察と大阪府から水辺の安全についての話をしました。これからも、水辺の安全の約束「大人と一緒に」「天気予報を見る」「雨がふったら川から離れる」を守って、水辺の生きものに親しんでくださいね。

淀川流域「鮎」の見聞シンポジウム　9月30日

このシンポジウムは、鴨川で活動する「京の川の恵みを活かす会」と「桂川流域ネットワーク」が主催し、芥川倶楽部が共催で実施したもの。国土交通省、京都大学の後援し、賀茂川や天竜川の漁協などが協力しています。

当日は、台風で開催が危ぶまれる中、多彩な顔ぶれの人々が集まり、会場はほぼ満席となりました。

京都大学名誉教授の川那部先生の挨拶にはじまり、同じく京都大学の竹門准教授が話題提供。「京の川の恵みを活かす会」から中筋さん、中川光さんの発表、桂川ネットの速水さんの報告と続きました。

そして最後に、芥川倶楽部です。田口さんと三橋さんが代表して、これまでの芥川の取組とアユの遡上調査の結果を発表しました。

発表の後は、お楽しみのアユの食味がスタート!

アユの串刺しの方法を習ったあと、鴨川、桂川、宇治川、木津川、上宇川、天竜川、芥川の7つの川のアユを食べ比べしました。

試食会の結果、芥川のアユの評判も上々でした。